

せおと

岡崎市立常磐小学校
令和三年九月二十日

ガードの硬いクリの実

長い休み時間が終わり、運動場から戻ってきた子供たちが握っていたものは、真ん丸に膨らんだクリの実でした。毎年、岩山のふもとにあるクリの木には、たくさんの実がなります。もうそんな時期になったかと思いい、クリの木の下の行ってみると、地面に鳥が口を開けたような音がぐりがたくさん落ちていました。

クリの実の収穫は、他の果物と違って、枝からもぎ取るのではなく、落ちているいがぐりを足で踏んで割り、中の実を取り出します。昔、家の近くの神社で、いがぐりのいがいがに何度も痛い目にあわされながらも、一生懸命クリの実を集めたのを思い出します。

そこで一句

食べごろは地面にダイブ空のウニ

それにしてもなぜ、クリはあんなにしっかり守られているのでしょうか。同じ種類のどんぐりにはいがいがはありません。クリ



自体、つやつやで硬い皮とむきにくい渋皮で包まれています。いがいがで嚴重に守るわけは何でしょうか。もしかしたら、クリは自分がおいしい甘栗や栗きんとん、モンブランケーキなどになることを知っていて、もったいぶっているのかもしれない。

そんな岩山では、トンボにバツタも元気に飛んでいます。晴れた日の空は、真つ青な秋空です。直射日光は、まだまだ強く帽子は欠かせませんが、風はさわやかで心地よさを感じます。これらの時期、何をするにも最適の季節となります。

・わからないときには、わからないということ。

これは授業における「チーム学習」のルールですが、部活動においても、チーム力を高めるため、お互いの声を聞くことが大切です。大会で全力が出し切れるように、チームの仲間としっかりコミュニケーションを取ってほしいと思います。それこそがクリのように、何重にも守備を固めることにつながると思います。

ときわアイデアマスター

先週、感染予防を強化するための具体的なアイデアを募集したところ、二十九件のアイデアが提出されました。ありがとうございました。クラスで考えて、一人一人がアイデアを出した六年二組、クラスで話し合っ一つアイデアにまとめた三年一組には、アイデアマスター団体賞を贈ります。また、アイデアの中から、次の二つを採用したいと思います。

- ・離れていてもできる全校レク（クイズ）
- ・コロナ対策の歌作り（作詞・作曲）替え歌も可



今度は「コロナ対策の歌」みんなからの作詞・作曲を待ってるよ！